

# <参考資料1>

## 車両状況照会の拡充機能の画面プロセス図(以下の内容は検討中)

第一階層



(自動車リサイクルシステムのTOP画面)  
 利用者が一目で画面の入口を判別できるようにするため、現行の一般料金照会の入口を『自動車ユーザー向け』の入口に変更して、所有者が利用する機能を一元的に纏める。

ボタンをクリック

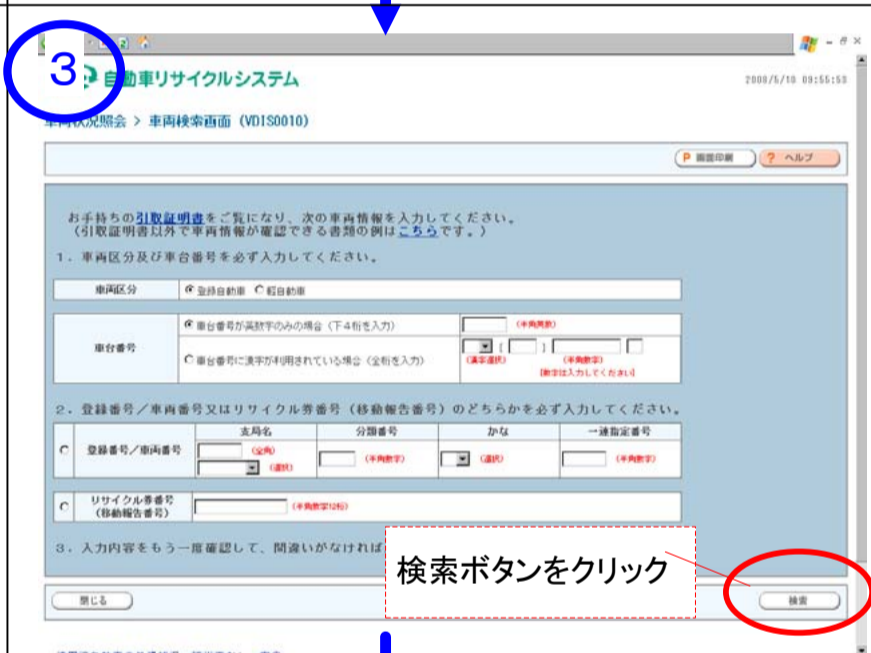
第二階層



(自動車ユーザー向け画面)  
 『自動車ユーザー向け』画面には、次の内容を設える。  
 (1) 使用済自動車の処理状況を確認するボタン  
 (2) 自動車のリサイクル料金の預託の有無及びリサイクル料金額を確認するボタン  
 (3) 自動車ユーザー向けのQAやお知らせ欄(内容は今後、検討)

ボタンをクリック

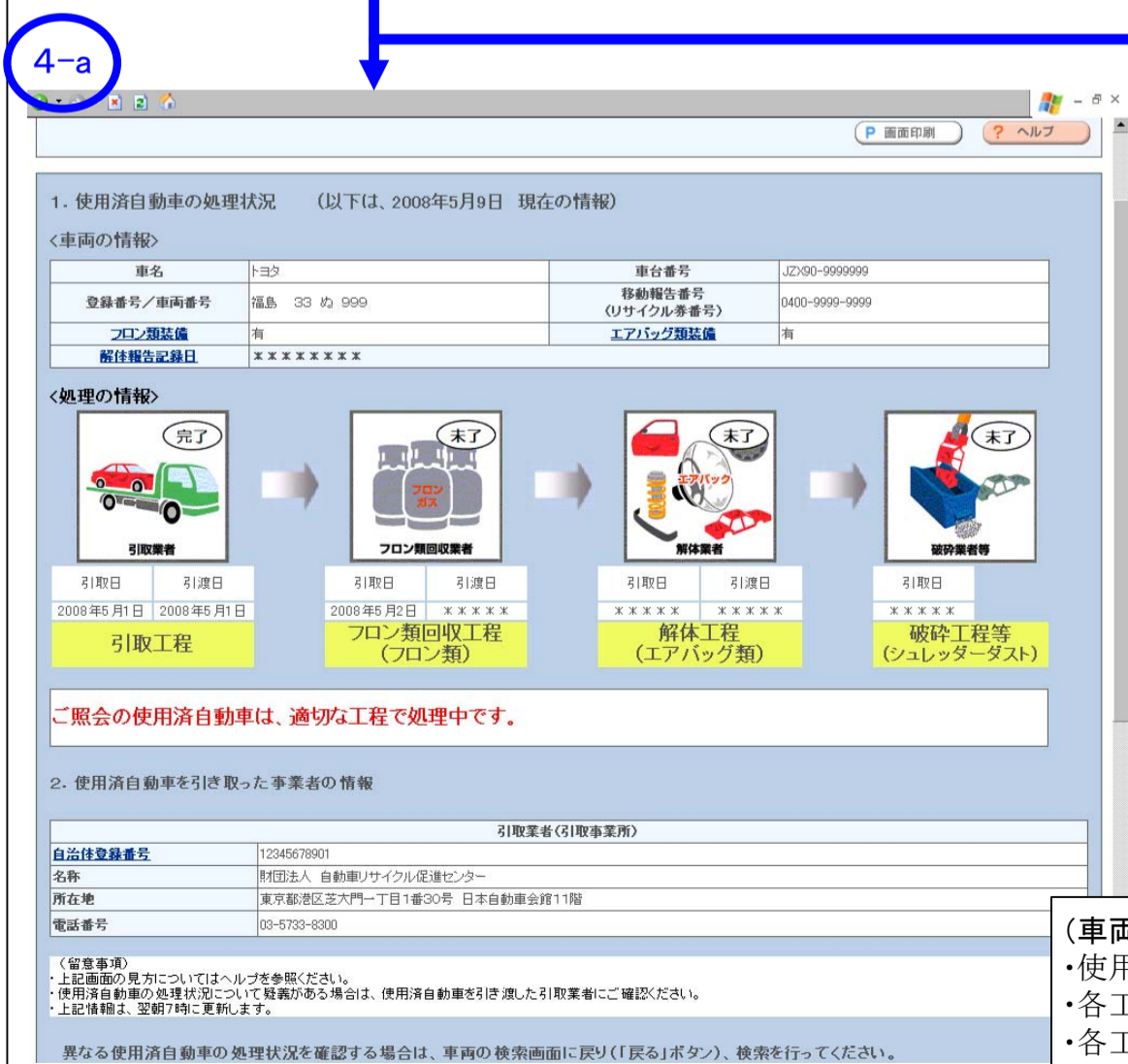
第三階層



(車両検索の画面)  
 車両の検索方法は次の通り  
 (1) 『リサイクル券番号(移動報告番号)』+『車台番号の下4桁』を入力して車両を検索  
 (2) 『登録番号/車両番号』+『車台番号の下4桁』を入力して車両を検索

検索ボタンをクリック

第四階層



(車両の検索結果の画面4-d)  
 検索車両が使用済自動車として引取報告がされていない場合、又は該当車両が見つからない場合は、その旨を告知して利用者に必要な次のアクションを表示。

(車両の検索結果の画面4-a)  
 ・使用済自動車の処理の状況が一目で分かるようにポンチ絵で表示  
 ・各工程の処理完了・未了の状況を表示  
 ・各工程毎の『引取日』、『引渡日』、『解体報告記録日』を表示  
 ・各工程の処理について遅延の有無  
 ・引取事業者の自治体登録番号・名称・住所・電話番号を表示